

松本薫杯 第 55 回金沢少年少女柔道大会要項

1. 目的

大会を通じて選手間の親睦を図り、正しい柔道の習得と夢に向かって努力を惜しまない少年少女の育成を目的とする。

2. 主催

金沢市

3. 主管

金沢市柔道協会

4. 後援

石川県柔道連盟 北國新聞社

5. 日時

令和 6 年 9 月 8 日（日）開会式 午前 9 時 30 分より（開場時間 8 時 00 分）

6. 会場

金沢市総合体育館

〒921-8116 石川県金沢市泉野出町 3 丁目 8-1

TEL (076) 247-0088

7. 参加資格

- ① 対象は 3 年生以上とし、出場する団体、監督、コーチ、選手は全日本柔道連盟に団体登録および個人登録していること。
- ② 石川県内の団体において編成を満たせない場合、合同チームでの出場を認める。
- ③ 監督、コーチは公認 C 以上の指導員資格が有効かつ大会当日に引率をしなければならない。
- ④ 監督は大会出場にあたり、出場選手とその保護者の出場意思を確認し、同意を得ること。

8. 選手編成

先鋒 4 年生 次鋒 5 年生 中堅 5 年生 副将 6 年生 大将 6 年生 補欠 3 名

1 学年上の位置に出場することは差し支えない。ただし、指定学年において体重の軽い順に配列すること。

例) 4 年生で 5 年生の位置に出ようとする場合、5 年生より重い場合は中堅となる。

試合ごとにオーダーの変更を認める。但し、一度提出したオーダーは変更できない。

9. 競技方法

小学生による団体戦とする。

予選リーグを行い、順位に応じて 1~3 部トーナメントに出場する。予選リーグにおける順位の設定は以下の順で行う。

- ① 勝数の多いチームの順に決定する。
- ② 勝数が同数の場合は、内容差で決定する。
- ③ 内容が同じ場合、該当チーム同士における直接対決の勝者を上の順位とする。
- ④ 上記において同内容の場合は、自由選出の代表戦で順位を決定する。
- ⑤ 1~3 部トーナメント戦において勝数・内容が同等の場合は引分者の中から抽選で代表者を選び

代表戦を行う。(GS は行わない)

⑥ 1~3 部トーナメントの組み合わせ抽選は予選後に行う。

10. 試合時間

2 分間 ロスタイム有り

11. 審判規程

① 国際柔道試合審判規程及び少年大会特別規程、ならびに当大会申し合わせ事項により実施する。

② 優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上、または「指導差が 2」以上とする。

③ 代表戦において 2 分間で得点差がない場合は僅差判定で勝敗を決める。

④ 代表戦の判定基準は「技あり」以上、または「指導差が 1」以上とする。(GS は行わない)

12. 表彰

1 部トーナメント 1 位から 3 位、2 部及び 3 部は 1 位を表彰する。優勝チームは優勝杯を授与する。

(持ち回り) 入賞チームより優秀選手(1 名) を選考し KAORI 賞を授与する。

13. 申込方法

別紙申込書に必要事項を記入の上令和 6 年 7 月 28 日(日)までに大会事務局へ申し込む。期日厳守。

〒921-8154 石川県金沢市高尾南 3 丁目 14

大会事務局 窪田 和樹 宛

TEL 076-298-1121

メールアドレス kubotaclub@spacelan.ne.jp

(問い合わせ先 携帯 080-6356-7683)

14. 選手変更

申込提出後の選手(補欠も含む)の変更は原則認めない。但し、選手の負傷等でやむを得ない場合は 9 月 7 日(土) 15 時までに大会事務局に選手変更用紙に学年、体重順に配列し変更と明記し e-mail にて受け付けを認める。大会当日の変更は受け付けない。以降は補欠より補充し配列すること。オーダー変更(補欠との入れ替え)は前試合の終了までに本部選手変更係にオーダー用紙を提出すること。

15. 組み合わせ

大会事務局で一括して行う。抽選結果を令和 6 年 8 月中旬に金沢市柔道協会 HP にアップロードする。

16. 参加料

1 チーム 3,000 円

尚、傷害保険については必要に応じて各自加入してください。また、怪我が発生した場合は必ず救護に伝えること。

17. 審判監督会議

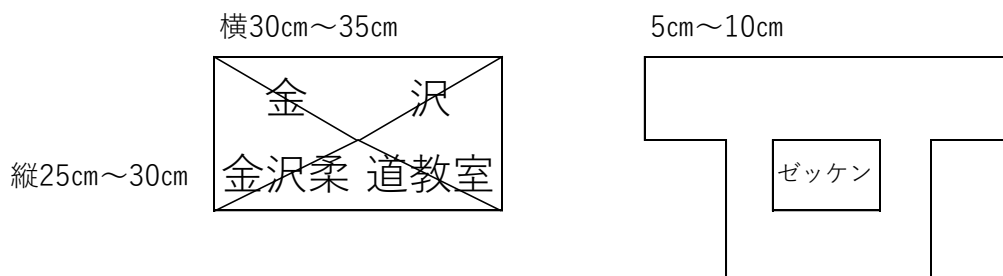
令和 6 年 9 月 8 日(日) 午前 8 時 30 分より総合体育館内会議室で行う。

18. ゼッケン

各自でゼッケンを下記要領で必ず縫い付けること。

① ゼッケンのサイズは横 30 cm~35 cm、縦 25 cm~30 cmとする。

- ② 縫い付ける位置は後ろ襟から5cm～10cm下部とし、必ず対角線にも縫い付けること。
- ③ ゼッケンの表記は上側2/3に苗字を、下部に全柔連に登録した所属名(チーム名)を男子は黒文字、女子は赤字で、字体はゴシック又は楷書で記載すること。なお、同姓がチームにいる場合は、名前の最初の一字を入れる。



19. その他

- ① 申込チームは帯同審判員(全日本柔道連盟公認審判員)を1名以上派遣ください。帯同審判員がいないチームは申込時にご相談下さい。審判員はエンブレム・ネクタイを持参してください。
- ② 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて
 - (ア) 参加申込書に記載された個人情報について大会プログラム、競技会場に掲載されます。
 - (イ) 競技結果(記録)報道機関により、新聞等(写真を含む)で公開されることがあります。また、金沢市柔道協会のHPにも競技記録や写真が掲載されることがあります。
 - (ウ) 大会申込書の提出により、上記取り扱いに関するご了承をいただいたものとして、対応致します。
- ③ 試合場におけるコーチの振る舞いについて留意してください。
- ④ 各チームの帯同審判員の方には昼食を用意してあります。
- ⑤ 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もあります。
- ⑥ 脳震盪対応について選手および指導者は下記の事項を順守してください。
 - (ア) 大会1か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - (イ) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
 - (ウ) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - (エ) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- ⑦ 競技中の事故については主催者側にて応急処置はおこないますが、それ以外の責任は一切負いません。
- ⑧ 各チームで事前に健康観察の上、大会に参加すること。
- ⑨ 観客席は指定場所によりご着席願います。